

セミナー「アジア・ウォッチャー」



※写真は第2回対面開催時のもの

活動の概要

- 主催
アジア研究所
- 開催日
令和7年10月25日、12月7日、
令和8年1月24日（年3回）
- 開催場所
亜細亜大学武蔵野キャンパス、
オンライン
- 参加者（一般公開）
学生・教職員、研究者、地域市民

（目的）

アジアの社会、言語、文化、政治・経済の変化や社会情勢などからタイムリーな話題で講演会を開催し、研究者・地域市民のアジア諸国に対する理解を深め、関心を促す。

（活動内容・成果）

- ◎第1回 [ハイブリッド開催]
「深化する台湾アイデンティティと硬直化する中国共産党イデオロギー」
講師：塩澤 英一（共同通信論説委員）
 - ◎第2回 [対面開催]
「東南アジアの国民国家を問い直す」
講師：片岡 樹（京都大学）、池田 一人（大阪大学）、大泉啓一郎（本学）、左右田直規（東京外国語大学）、佐々木拓雄（久留米大学）
 - ◎第3回 [ハイブリッド開催]
「インドネシア民主化の27年とは何だったのか：プラボウォ政権が目指すもの」
講師：松井 和久（松井グローバル合同会社代表）
- 以上3つのテーマで講演を行い、計310人が聴講した。



（今後の課題・目標）

本セミナーはアジア諸国のタイムリーな話題を掲げ、幅広い層から関心が寄せられている。ハイブリッド形式で実施するなど、多くの方の期待に沿う実施体制を模索する。